

第80回マチコミリサーチ 『今年度はどうだった？お子さまの学習のふりかえりについて』

ドリームエリア株式会社は、無料の緊急連絡網ツール『マチコミメール』を利用している保護者の方々を対象に、『今年度はどうだった？お子さまの学習のふりかえりについて』のアンケートを実施いたしました。

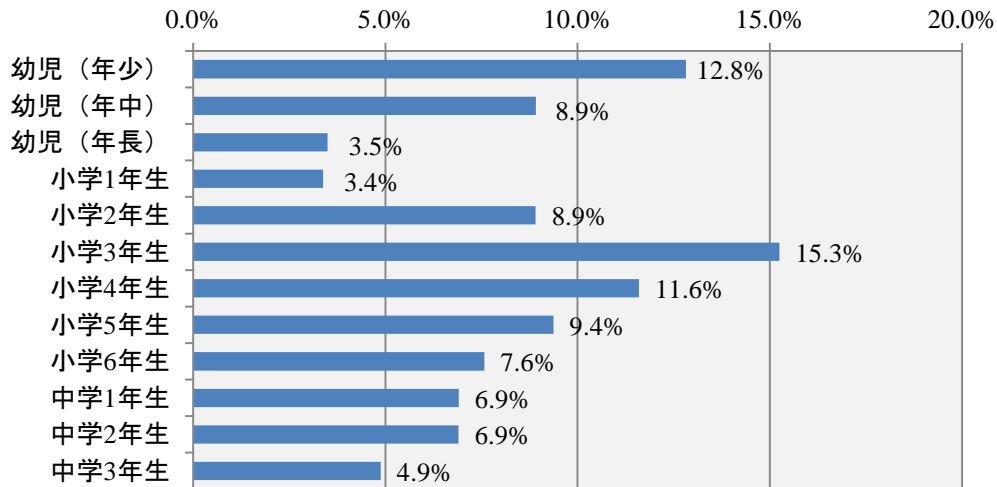
<調査概要>

調査期間	2020年2月13日(木)～2月18日(火)
調査方法	携帯サイト上のアンケートフォームにて回答
調査対象	全国の保育園・幼稚園・小学校・中学校・学童のマチコミメール会員
調査対象数	1,386,178名
有効回答数	15,036件

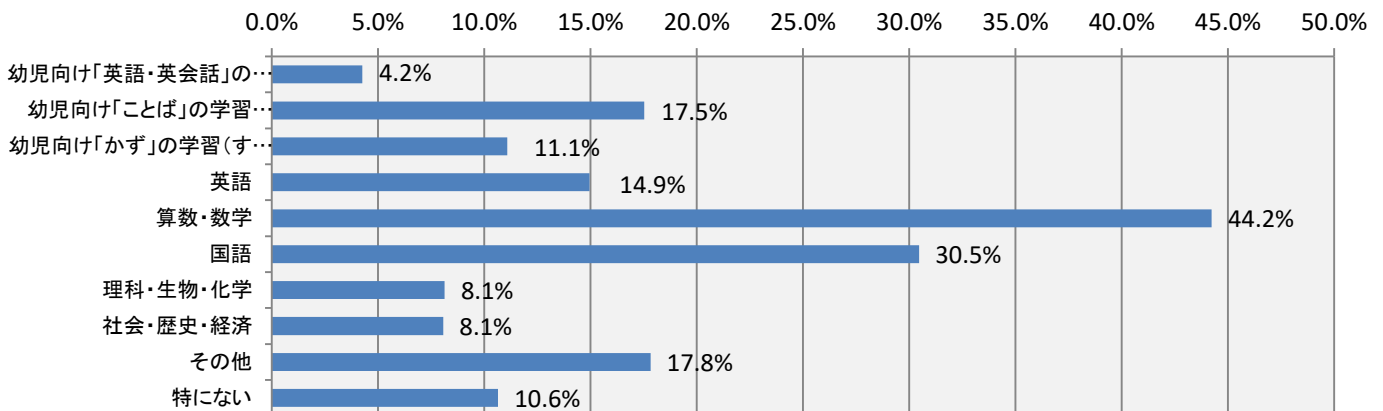
<質問項目>

1	お子さまの年齢は？※複数お子さまがいる方は一番下の学年をお答えください。
2	お子さまが今年度1番頑張ったと思われることは何ですか？(複数回答)
3	新学期から、お子さまに取り組んで欲しいことは何ですか？(複数回答)
4	お子さまの学習について、あなたが1番重要と思うことは何ですか？
5	お子さまは1人の時でも自分から積極的に学習に取り組みますか？
6	お子さまが現在、園や学校以外で取り組まれている学習手段はありますか？
7	タブレット端末を利用した学習についてのイメージを教えてください(複数回答)
8	2023年度までに、義務教育において生徒1人1台ずつ情報端末(タブレットやパソコン)の導入をすすめる予定です。あなたはこのことをご存知でしたか？
9	お子さまの家庭での学習で悩みがあれば教えてください(自由回答)

質問1: お子さまの年齢は? ※複数お子さまがいる方は一番下の学年をお答えください。

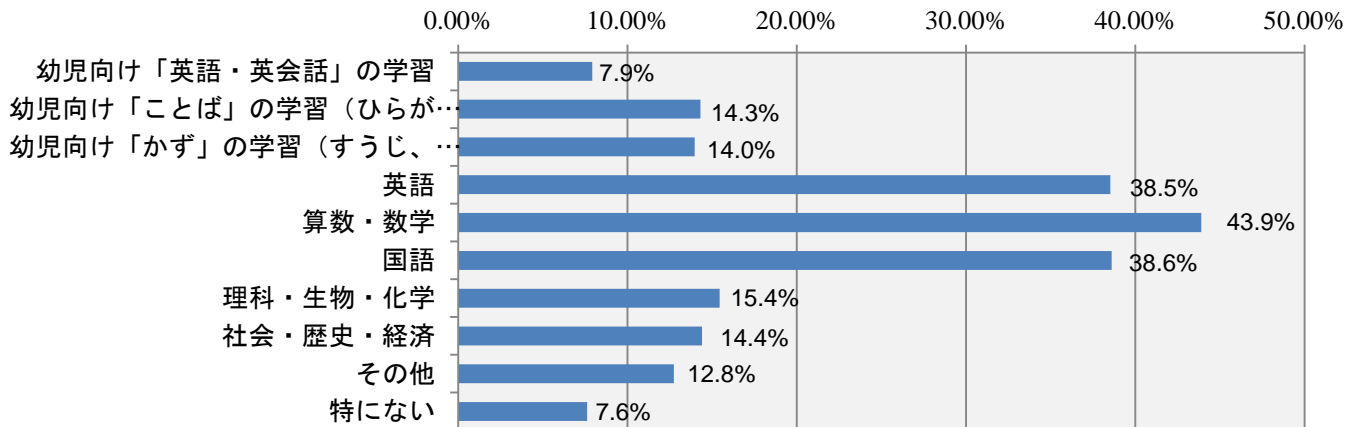


質問2: お子さまが今年度1番頑張ったと思われることは何ですか? (複数回答)



未就学児の場合、「幼児向け「ことば」の学習（ひらがな、カタカナなど）」に続き「幼児向け「かず」の学習（すうじ、とけいの理解など）」という結果になりました。一方、小学生・中学生の場合は「算数・数学」44.2% 「国語」30.4%と、基本2科目が突出しています。今年度は、どちらの年代も学習の基礎となる国語（ことば）・算数（かず）を重点的に学んできた傾向がわかります。国語で身につく読解力や語彙力、算数で身につく数字のイメージは今後どの分野の学習をするのにも必要な大事な基礎となります。これら基本科目に注力して基礎を固めておくのは、今後の学びにも大いに役立ちますね。

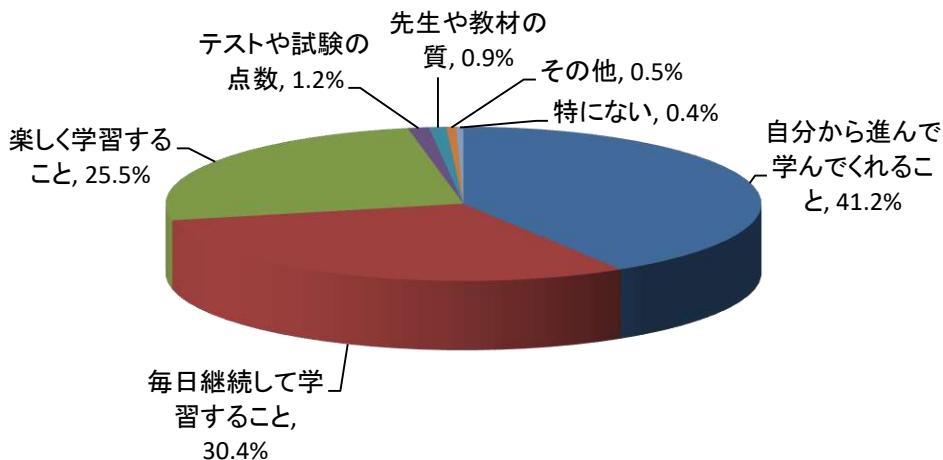
質問3: 新学期から、お子さまに取り組んで欲しいことは何ですか？(複数回答)



どの世代も、国語（ことば）・算数（かず）は今年度に引き続き取り組んでほしいとの結果に。やっぱり基礎科目は大切です。

また、小学生・中学生は「英語」が多くの票を集めました。2020年以降は教育改革の影響で小学校の授業にも英語が導入されるので、今後は英語に注力する傾向が見えてくるかもしれません。

質問4: お子さまの学習について、あなたが1番重要と思うことは何ですか？

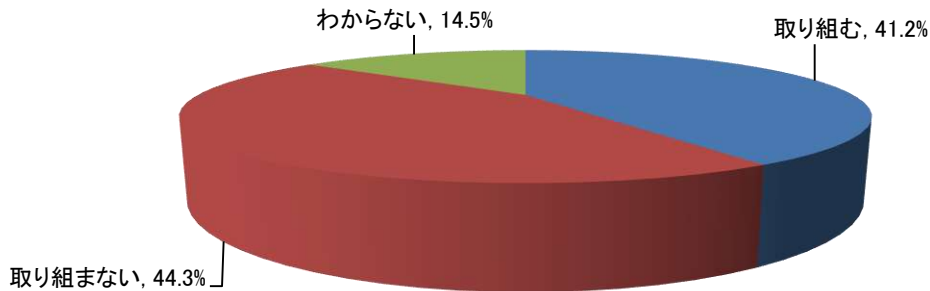


「自分から進んで学んでくれること」「毎日継続して学習すること」「楽しく学習すること」の3つの回答が96%以上を占める結果となりました。

お子さまが興味関心をもって自主的に何かに取り組むことは、学習だけでなくさまざまな事柄において必要な要素となります。今のうちから「自ら楽しみながら継続的に取り組む習慣」を身に付けておくと、今後の人生においても習慣が活かされる場面が出てくるのではないのでしょうか。

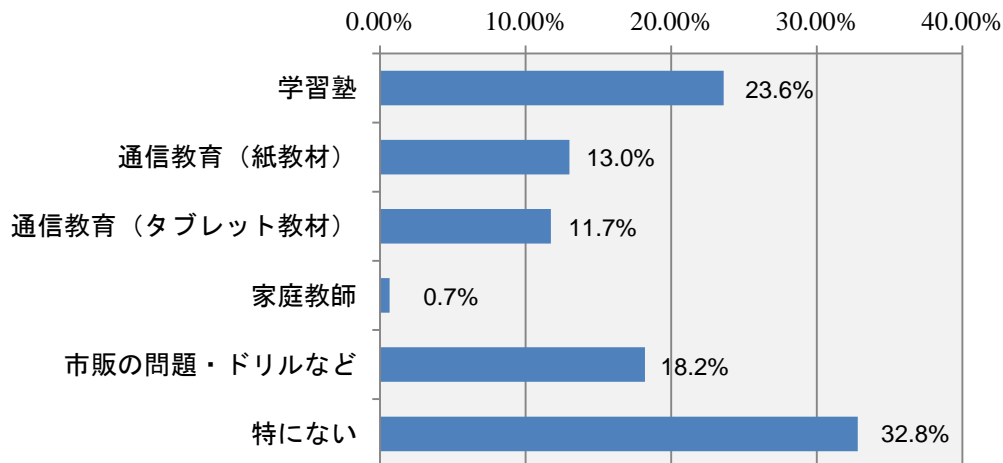
ただ親がアドバイスをして導くだけでなく、効果的な学習方法や教材を新しく選んでお子さまの反応をみても良いかもしれません。

質問5: お子さまは1人の時でも自分から積極的に学習に取り組めますか？



「取り組まない」との回答が一番多い結果となりました。自由回答欄でも、「親が声をかけないと取り組まない」などのコメントが多く見受けられました。やはり自主的に学習に取り組むには、毎日の習慣や意識付けが必要なようです。 「わからない」との回答の方は、親が共働きでお子さまの学習の様子を見られない、との方も一定数いらっしゃるようでした。

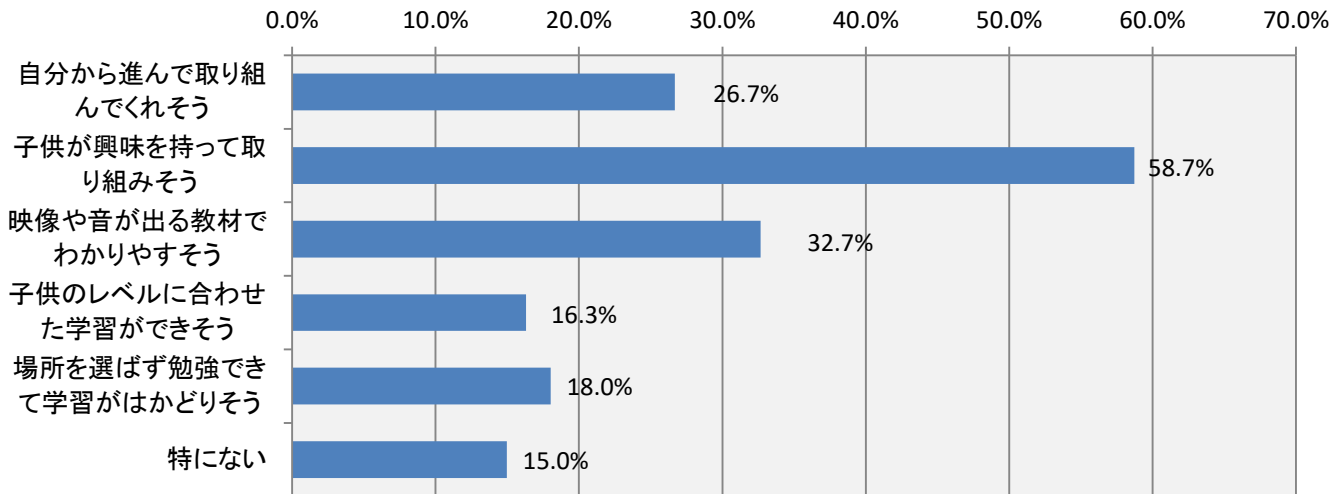
質問6: お子さまが現在、園や学校以外で取り組まれている学習手段はありますか？



「学習塾」「市販の問題・ドリルなど」「通信教育（紙教材）」の順で人気。お子さまの学習目的に沿った学習塾に通う、あるいは時間や場所を制限されることがなく自分のペースで進められる通信教材を取り入れているご家庭が多いようです。

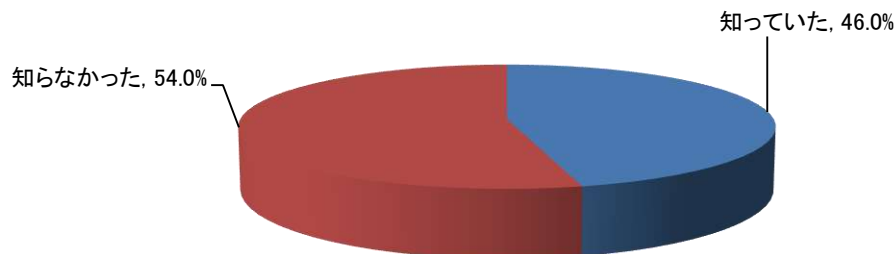
また、お子さまの性格に合った学習方法や好みの教材などがあるはず。まずは自主的に楽しんで学習に取り組んでもらいたい！という場合、楽しみながら自発的に学習ができる教材を選んでみるのも手かもしれません。親子で一緒にお子さまに合う学習方法を探してみるのはいかがでしょうか？

質問7: タブレット端末を利用した学習についてのイメージを教えてください(いくつでも)



「子供が興味を持って取り組みそう」が1位となりました。普段からスマホやタブレットなどに慣れ親しんでいるお子さまが多いことから、タブレット端末そのものに興味津々となりそうですよね。次に「映像や音が出る教材でわかりやすそう」が多い結果に。2020年度から小学校で始まるプログラミング教育など、これまでの紙教材ではいまいちわかりづらい考え方を学習するにはうってつけの教材かもしれません。また英語の学習においても、ネイティブ英語の再生機能があり耳で聴いて学習することもできます。机に向かって、紙と鉛筆で学習するだけでは得られない経験ができる点に注目が集まりました。

質問8: 2023年度までに、義務教育において生徒1人1台ずつ情報端末(タブレットやパソコン)の導入をすすめる予定です。あなたはこのことをご存知でしたか?



ほぼ半数に意見が分かれていましたが、「知らなかった」との回答がやや多い結果に。2023年という今から約3年後。とはいえ、今から情報端末の導入を具体的に進めている自治体もあります。今後まだまだ状況が変化しそうなので、お子さまが小学校・中学校へあがるまでに進学先の学校の情報を仕入れておきたいところですね。情報端末の導入状況によって、事前にご家庭で準備できることがあるかもしれません。2020年度の教育改革の内容からも、今後情報端末を利用した学習がますます推進されることが予想できます。情報社会がさらに進化した新しい時代に向けて、今年が教育面での大きな改革の年となります。我々大人も、新しい情報を適切に取り入れてお子さまを導く存在になる必要がありそうですね。

質問9:お子さまの家庭での学習で悩みがあれば教えてください(自由回答)

多かったお悩みは、以下3項目でした。

回答数 : 6,016件

- ・集中力がない
- ・スマホ・ゲームに夢中
- ・諦めが早い

その他にも、思わず「あるある」と頷いてしまうお悩みが多数挙がりましたのでいくつかご紹介し
ます。

- ・ゲームやりたさに、適当に終わらせている宿題。宿題をやる時間よりゲームの時間の方が長いのが悩ましいです。
- ・分からない事がある時、自分で調べないですぐに答えを聞こうとする。
- ・教えていると、ついムキになってきつくってしまう。
- ・勉強はちゃんと毎日やるのですが、自発的というより、親が怒るから勉強をやるスタイルなので定着しないのが悩みです。
- ・やっている時間はすごく長いのに、内容はあまり進んでいないことです。
- ・すぐにあきてしまう。すぐ「わからない」と言う。自分で考えようとしなない。ムラがある
- ・ルーティンを守るあまりに融通が効かないことがある。
- ・限られた時間でやらなければいけない事が色々あるのに、のんびりしてしまうことが多いので、もう少し時間の配分を考えられるようになればいいと思います。
- ・親世代と今の子供の学習の仕方が違い、教え方が分からない

まとめ

アンケートの結果から、多くの保護者様はお子さまに自主的に学習に取り組む姿勢を期待していることがわかりました。これは、どうしたら成績が上がるか？といった具体的な学習内容に関するお悩みよりも、お子さまの学習に対する意識付けや学習習慣を定着させたいと考えている傾向が強いことが明らかになりました。お子さまの習慣を見直すことや学習へのイメージを前向きなものにすることは、今とは違った工夫が必要となります。「問題が解けると楽しい！」「漢字が書けると面白い！」といったポジティブな気づきができること、お子さまの学習への姿勢にも変化がありそうですよね。

また今年度のふりかえりとして、世代問わず基礎科目の学習によく取り組んできたお子さまが多い結果となりました。これから迎える春休みは短いので、効率的に復習や苦手の克服を行ったうえで新年度までにしっかりと学力の土台を作っておきたいところです。

タブレット学習は、苦手な問題の解き直し機能などが備わっているので効率的に学習ができますし、自動丸付けで保護者の手間がかからないことや1台のタブレットで全教科の学習ができる点など、保護者・お子さまにとってもスマートな使い勝手です。

お子さまが楽しみながら学べる、新しい学習方法を検討されている方はこの機会にタブレット学習を導入してみてくださいはいかがでしょうか？